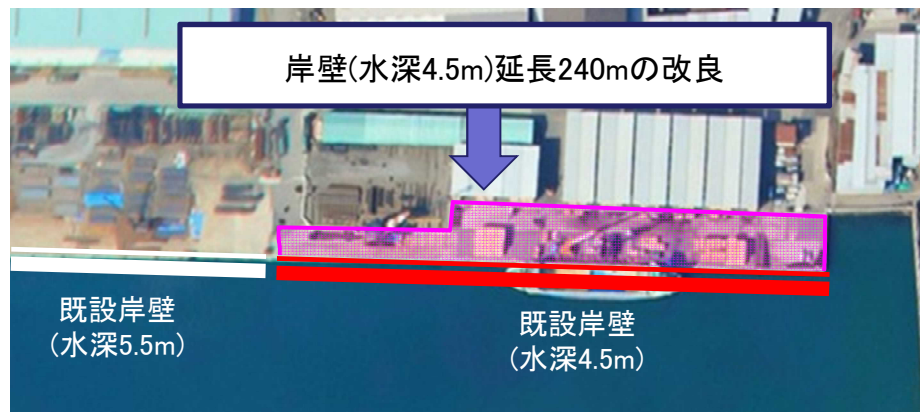


呉港老朽化対策事業（広多賀谷地区）

【呉港広多賀谷地区岸壁改良事業の目的】

呉港広多賀谷地区の公共岸壁(水深4.5m)は、供用開始から40年以上が経過し、岸壁の沈下やエプロンの老朽化により、荷役作業に支障が生じています。本事業では、背後企業の効率的な物流を維持するため、老朽化対策による施設の延命化、利便性の改善を図る改良事業を実施します。

◆整備期間：平成28年度～平成30年代前半



期待される効果

- ◆ 円滑な港湾物流の実現による地域産業の発展に寄与。
- ◆ 効果的、戦略的な老朽化対策による港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減。

事業箇所の施設状況

岸壁エプロンの傾斜



大潮時の施設の冠水



岸壁の沈下(約1m沈下)により、製品出荷を行っている岸壁エプロンが傾斜、また大潮時には冠水するなど、荷役作業に支障が発生。